

Think globally, act locally.

1992年リオ・デ・ジャネイロで開催された地球サミットで採択された標語です。広い視野で環境を考え、身近な行動をしようという意味です。何もしなければ何も起こりません。私たちは2004年4月から、浦戸湾の生物調査を本格的に開始しました。さまざまな生き物たちを順次紹介します…ほんのささやかな試みですが、未来の世代のために。

スナガニ科 ムツハアリアケガニ

Camptandrium sexdentatum



甲幅 8.8mm. 2004年5月7日西灘にて採集.

高知県絶滅危惧 I A類。潮間帯の泥地を好みます。高知県レッドデータブックでは、浦戸湾と大方町の蛸瀬川が産地でしたが、町田ほか（2004）は須崎湾でも確認しました。今回、浦戸湾西灘地区で初めて確認しました。1ページの写真の水際のほぼ全域に生息しています。

本種は甲羅の側面に鈍い3歯があり、背面の凹凸がはっきりしています。写真個体は雌で抱卵していました。明らかに浦戸湾で再生産しています。卵がオレンジ色なのは、アルコール標本にしたためです。雄はもっと大きなハサミを持ちます。

2004年5月12日発行 発行者：町田吉彦（理学博士，高知大学理学部教授，
四国自然史科学研究センターセンター長）

本書の内容の無断複製を禁止します。複製ならびに内容についての問い合わせは FAX 088-844-8310（町田研究室直通）でお願いします。